

## 新聞データベース活用部会 授業実践計画案

校種 小学校  
学年 5 学年  
教科領域 社会科  
单元名 自動車をつくる工業

### 第5 学年 社会科学習指導案

平成18年11月14日 5校時  
仙台市立向陽台小学校 5年3組  
教諭 奈良 理香

1. 单元名 わたしたちの生活と工業生産 ～自動車をつくる工業～

2. 单元の目標

自動車づくりのさかんな地域や自動車づくりの工程，工業に従事する人々の工夫や努力を調べるようにする。

さまざまな工業が国民生活を支えていることや環境やエネルギーの問題などと深いかわりをもっていることを考えるようにする。

3. 单元の評価規準：「我が国の工業生産」の評価規準

| 社会的事象への<br>関心・意欲・態度   | 社会的な思考・判断  | 観察・資料活用の<br>技能・表現   | 社会的事象についての<br>知識・理解                     |
|---|--|---|---|
| 我が国の工業生産の様子に関心をもち，それを意欲的に調べることを通して，国民生活を支える我が国の工業生産の発展について関心を深めようとしている。 | 我が国の工業生産の様子から学習の問題を見いだして追究・解決し，国民生活を支える我が国の工業生産の意味を考え，適切に判断している。 | 我が国の工業生産の様子を的確に調査したり，地図や地球儀，統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用したりするとともに，調べた過程や結果を目的に応じた方法でわかりやすく表現している。 | 我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。 |

4. 指導にあたって

(1) 单元について

この单元は，学習指導要領の内容2(2)ウ「工業生産に従事している人々の工夫や努力，工業生産を支える貿易や運輸の働き」を受けて設定されている。

この单元では，自動車という身近な事象をもとに，我が国の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにしたい。また，自動車づくりの工程や自動車をつくる人々の努力や工夫を調べることを通して，工業がわたしたちの生活を支えていることだけでなく，工業が抱える問題点についても考えさせたい。

## (2) 児童の実態

子供たちは、普段の生活で自動車をよく利用している。そして、その自動車がなくなったらどうなるか、予想させたところ「不便」「遠くに行けない」「歩かないと行けないから大変」など、ほとんどの児童が、自分の生活との関わりから予想していた。また、「環境にいい」「道路がいらなくなる」と答えた児童もあり、自動車と環境の関わりについて、考えた児童もいた。

人と環境にやさしい自動車の存在については、聞いたことがある子とない子が半数ずつであった。関心の高い児童は、自学で自主的に「ハイブリッドカー」や「電気自動車」を調べてノートにまとめている子も数人見られる。

新聞記事を読むことについて、「記事を読んで、どうして？これからどうなる？などと考えることはあるか」質問してみたところ、ほとんどの児童が「あまりない・ほとんどない」と答えた。基礎的資料から予想を立てさせる学習の必要を感じている。

## (3) 指導にあたって

まず、将来自動車を買うときにどんな車がよいかを自由に予想させる。

そして、身近な工業製品として自動車を取り上げ、実物の自動車を観察させたい。部品の数の多さや材料など児童がさまざまな気づきを得られるような導入をしたい。ここでの気づきをもとに学習課題をもたせ、自分の予想を立て、どのように自動車が作られているのか調べたいことを整理していく。

次に、自動車づくりについて調べさせる。複線型の調べ学習を設定し、児童が自分の課題を継続して追求できるようにしていく。そして、個々の学びを全体で共有する時間をもち、自動車づくりに従事する人々の工夫や努力を整理していく。

「人と共存する自動車の開発」では、ハイブリッドカーと普通車との違いや開発の背景を知り、これからの車社会を実際に予想させ、どうしてそう考えたのか根拠となる資料を新聞データベースから探す活動をし、これからの車社会について話し合わせたい。

なお、データベースについては、総合で「食」に関する学習で事前に使い方を学習している。

## (4) 新聞データベース活用について

新聞データベースを活用する利点は、3つある。

1つ目は、情報の信頼性である。新聞データベースは、新聞社が発行した記事を集めたものであり、教育上有害な情報は少ない。

2つ目は、データベースは、必要な情報を取り出しやすい。膨大な新聞記事から必要な記事を探すのは困難だが、必要な情報の時期やキーワードを入れることで容易に検索できる。

3つ目は、新聞は、毎日発行されるものであり、データベースでは、記事の変遷をたどることもできる。一つの事象がどう変わっていたのか、事実を通して調べることができる。

以上のことから、新聞データベースを社会科の「基礎的資料」と位置づけ、効果的な活用を学ぶことに有効ではないかと考えた。

(5) 情報教育目標リストとの関連

| 情報活用能力   | STEP 3  | 本単元の内容との関連  |
|----------|---|---|
| 情報活用の実践力 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的に応じて、メディアを選択し、情報を集める。【C-2(2)】</li> <li>・ 相手に伝わるように、資料を使って伝える。【C-3(3)】</li> <li>・ 自分の考えを持ちながら相手の考えを聞く。感想や意見を伝え合う。【D-5】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞データベースを活用して、自動車関連の記事を集める。</li> <li>・ 記事を資料として提示しながらプレゼンテーションをする。</li> <li>・ プレゼンテーションを聞き、質問や感想を発表し、意見交換をする。</li> </ul> |

5. 単元の指導計画(全11時間)

| 時           | 主な学習活動  | 指導・支援のポイント   | 評価の観点  |
|-------------|---|--|--|
| 1           | 本物の自動車を観察し、種類や部品の多さに気づき、自動車づくりの課題をもつ。   | ・ 自動車の細部まで観察させ、どうやってつくっているのに関心を高めるようにする。   | <b>関</b> 自動車がどのようにつくられているのに関心をもつ。                                |
| 2<br>3      | 自動車が次々と作られるひみつを写真やインターネットで調べる。  | ・ コンピュータの活用を通して、資料活用能力の育成を図るようにする。   | <b>技</b> 組み立ての順序・働く人の工夫についてわかったことや考えたことをまとめている。                  |
| 4           | 学習問題をつくり、学習の計画を立てる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自動車をつくるために必要な仕事は、ほかにはないのだろうか。</div> | ・ 調べてわかったことやさらに知りたいことをまとめさせる。  | <b>関</b> 自分なりの予想を立てている。  |
| 5<br>6<br>7 | 自動車づくりにかかわっている人たちの仕事を調べる<br>自動車の部品工場のいろいろな工夫<br>注文した車を届けるまでの工夫<br>世界で自動車生産している人々の工夫   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連工場がさらに小さい部品を作っていることや関連工場が工場の近くの高速度道路や鉄道沿いにたくさんあることを気づかせる。</li> <li>・ 運輸のはたらきに気づかせる。</li> <li>・ 外国で車を作るよさや輸出との違いに気づかせる。</li> </ul> | <b>思</b> 自動車生産に関わる人々の工夫を読みとり、調べて分かったことを自分の調べた内容と関連づけて考えている。      |
| 8<br>9      | <b>人と共存する自動車の開発</b><br>ハイブリッドカーと普通車の違いやハイブリッドカー開発のひみつを調べる。  | ・ 普通車の現状と課題についておさえ、ハイブリッドカーが実用化される背景を考えられるようにする。   | <b>関</b> 技術者の努力や苦勞を探ろうとしている。<br><b>知</b> ハイブリッドカー開発の背景を理解しようとする。 |
| 10          | これからの車社会について考える。  | ・ 環境問題、エネルギー問題、交通事故、高齢化社会、ユニバーサルデザイン、など観点を与え、車社会の問題点を調べさせ  | <b>思</b> 自動車を作る場合、使う場合の願いをもとうとしている。                              |

|              |                   |                            |  |
|--------------|-------------------|----------------------------|--|
|              |                   | る。自動車を作る場合・使う場合の両面から考えさせる。 |  |
|              | データベースを使って調べる     | これからの日本にどんな車が必要かを考えよう。     |  |
| 11<br>本<br>時 | これからの車社会について話し合う。 | ・自分の考えを根拠を示しながら発表できるようにする。 | 思 これからの自動車づくりの工夫や努力について自分なりの考えをもとうとしている。 |

## 6. 本時の学習指導

(1) 題材名：これからの車社会について話し合おう。

(2) 本時の目標

将来どんな車が走っているか、自分たちの考えを理由付けて発表できるようにする。

将来どんな車が走っているか、友達の自分の考えも参考に自分の考えを決めるようにする。

(3) 本時の指導にあたって

「将来どんな車が必要になってくるか。」という問いに対する結論（予想）を発表し合う。グループごとに、自分たちの予想を発表するが、発表の際は、プレゼンテーションの形をとらせたい。

はじめに、グループごとの発表を聴き合い、その後自分はどの観点で車を選ぶのか、考えを発表させる。学習の初めに書いたワークシートと最後の考えを比較し、自分の価値の変化に気づかせ、学習をまとめたい。

(4) 指導過程

| 主な学習活動                         | 主な発問と<br>予想される児童の反応               | 指導上の留意点<br>評価の観点           |
|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 1 今日の活動の見通しをもつ。                | 決められた時間の中で自分たちの予想を伝えよう。           | 発表の観点や聞く観点を確認する。           |
| 2 グループごとに発表をする。                |                                   | 生産者・消費者の立場をはっきりさせて発表させる。   |
|                                |                                   |                            |
|                                |                                   |                            |
| 3 発表を聞いて、自分の考えをまとめ、さらに意見交換をする。 | ・どんな価値観をもって車を作ったり買ったりしたらいいのでしょうか。 | 自分の価値観の順位を決めさせる。           |
| 4 学習前と今回との比較をし、まとめをする。         |                                   | 思考<br>ワークシートに自分の考えを記入している。 |